

基礎臨床社會醫學統合講義

2016.08.29 - 09.02

09:00 - 16:20

統合講義とは

基礎臨床社会医学統合講義(通称、統合講義)は、毎年8月末の一週間で開催される、東京大学医学部の特別講義です。毎日異なるテーマの下、各界の著名な先生方をお呼びしご講演いただきます。その名前にある通り、基礎・臨床・社会医学を満遍なく取り上げ、医学の多角的な側面を理解することを目標としています。また、演者の方々にはご専門とされる分野について発展的な内容をお話いただくため、単に学際的であるだけでなく学術的にも大変価値のある講義となっております。

また統合講義には医学部の講義で唯一、学内関係者の方全てに開かれた講義であるという特徴があります。医学部の講義は通常他学部聴講が許されていないのですが、この統合講義のみは、本学関係者であればどなたでも聴講することができます。

統合講義は、幅広いテーマを取り上げ、あらゆる分野の方に開かれているという性質から、既存の枠組みに囚われない医学のあり方を模索していく象徴でもありと考えております。本講義は医学の最新の知見に興味のある方はもちろん、病院で見られるものとは異なる医学に触れてみたい方や、医学と普段縁のない方にもお楽しみいただけます。様々なバックグラウンドをお持ちの皆様と演者の方々との質疑応答により、本講義が独創的な知を生み出す場となることを期待しております。

学生代表 医学部医学科 4年
古川 渉太

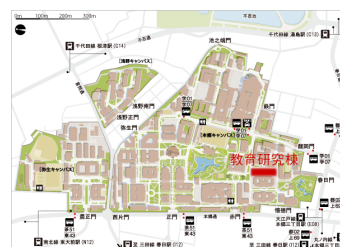
2016年度基礎臨床社会医学統合講義 開催概要

- ・主催
東京大学医学部医学科
- ・顧問
大須賀 穰 教授
(東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学)
廣瀬 謙造 教授
(東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経生物学分野)
- ・日時
2016/08/29(月)~2016/09/02(金)
08:30 開場 09:00 開始 16:20 終了 (途中入退場自由)
※満席になりしだい受付を終了させていただきます。ご了承くださいませ。
- ・場所
医学部鉄門記念講堂(本郷キャンパス 医学部教育研究棟 14F)
- ・お問合せ
utmed.tougoukougi2016@gmail.com

テーマ一覧

- ・08/29(月): ワクチン研究最前線
- ・08/30(火): 糖尿病学の今に迫る
- ・08/31(水): 現代人に生きやすい社会を
- ・09/01(木): 視る医学
- ・09/02(金): 社会医学研究とは何か

会場地図



ワクチン研究最前線

08/29(月) 09:00 - 16:20

ワクチン開発の歴史において、様々な方法により安全性や効能の向上が図られてきましたが、いずれも一長一短でありその両者を併せ持つワクチンの開発は困難を極めています。しかし近年は特殊なベクターの使用等を通して、革新的なワクチンの開発が進みつつあります。本講義では、最先端のワクチン関連技術をご紹介します。

コーディネーター

- 大須賀 穰 先生 (東京大学大学院医学系研究科 産婦人科学 教授)
俣野 哲朗 先生 (東京大学医科学研究所附属病院 エイズワクチン開発担当分野 教授)

スケジュール

- 09:00 - 10:30 『なぜ今、粘膜ワクチン開発が必要なのか?』
清野 宏 先生 (東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 炎症免疫学分野 教授)
- 10:40 - 11:25 『センダイウイルスベクターによるワクチン開発』
井上 誠 先生 (株式会社 ID ファーマ 取締役・DNAVEC センター長)
- 11:25 - 12:10 『エイズウイルス中和抗体: 分子 / 細胞 / 個体単位での誘導制御の糸口』
山本 浩之 先生 (国立感染症研究所 エイズ研究センター 第二研究グループ 長)
- 13:00 - 14:30 『スタートアップのベンチから臨床を目指してのワクチン開発例』
赤畑 渉 先生 (VLP Therapeutics 社 CEO)
- 14:40 - 16:20 『粘膜免疫システムを利用した子宮頸癌に対する癌ワクチン
~新しいワクチン戦略と TR 研究』
川名 敬 先生 (東京大学大学院医学系研究科 生殖発達加齢医学専攻 産婦人科学講座 生殖内分泌学分野 准教授)

糖尿病学の今に迫る

08/30(火) 09:00 - 16:20

現代医学において最も重要な疾患の1つである糖尿病をテーマにとり、その病態解明や糖代謝関連の生命現象を捉える研究そして糖尿病治療といった各分野でご活躍されている先生方からお話を伺い、糖尿病という疾患を取り巻く医学研究と臨床の最前線およびその広がりを感じていただくことを目的とします。

コーディネーター

門脇 孝 先生 (東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科 教授)
*09:00-09:15(導入)

スケジュール

- 09:20 - 10:40 『増え続ける糖尿病～その成因と研究～』
山内 敏正 先生 (東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 准教授)
- 10:50 - 12:10 『モーター分子群、KIFs の機能と疾患：
神経機能・発生の制御から糖尿病まで』
廣川 信隆 先生 (東京大学大学院医学系研究科 分子構造・動態・病態学講座 特任教授)
- 13:00 - 14:00 『臨床から基礎へ 基礎からさらに臨床へ』
清野 裕 先生 (関西電力病院 総長)
- 14:10 - 15:10 『ICT 医療と糖尿病』
脇 嘉代 先生 (東京大学大学院医学系研究科 健康空間情報学講座 特任准教授)
- 15:20 - 16:20 『サイエンスならびにヒューマニティを基礎とする糖尿病医療』
石井 均 先生 (奈良県立医科大学 糖尿病学講座 教授)

現代人に生きやすい社会を

08/31(水) 09:00 - 16:10

物質的な豊かさを手に入れた現代社会においてより重要な立ち位置を占めている「こころ」の問題に、精神医学の立場から迫ります。臨床的知見からみる個々の精神疾患の研究から、社会全体を見据えたメンタルヘルスの問題まで、「こころ」を頼りに幅広い視座からこれからの社会に必要な医療を浮き彫りにします。

コーディネーター

笠井 清登 先生 (東京大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授)
金生 由紀子 先生 (東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 統合脳医学講座 こころの発達医学分野 准教授)

スケジュール

- 09:00 - 10:30 『こころの発達からみた現代社会』
金生 由紀子 先生 (東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 統合脳医学講座 こころの発達医学分野 准教授)
- 10:40 - 12:10 『統合失調症－脳と仲間と人生と』
福田 正人 先生 (群馬大学大学院医学系研究科 神経精神医学 教授)
- 13:00 - 14:30 『働く人の幸せに向けて：「弱み」を支え「強み」を伸ばす支援』
島津 明人 先生 (東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 精神保健学分野 准教授)
- 14:40 - 16:10 『プライマリ・ケアと地域精神医療の実践と生活(仮)』
夏堀 龍暢 先生 (医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック)



視る医学

09/01(木) 09:00 - 16:20

講義全体を二分し、前半を「視覚を手段として用いている医学」の例として透明化マウス、蛍光イメージング、内視鏡治療などを取り上げます。後半は「視覚を研究・治療の対象としている医学」の例として認知科学、眼科学などを取り上げます。講義全体を通して視覚を多角的な視点からとらえ、理解することを目標とします。

コーディネーター

大木 研一 先生 (東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻 生理学講座 統合生理学分野 教授)

スケジュール

- 09:00 - 10:30 『化学を駆使して新たな疾患可視化技術を創製する』
浦野 泰照 先生 (東京大学大学院医学系研究科 生体物理医学専攻 医用生体工学講座 生体情報学分野 教授)
- 10:40 - 12:10 『消化管を覗き見る』
藤城 光弘 先生 (東京大学医学部附属病院 光学医療診療部(消化器内科) 准教授)
- 13:00 - 14:00 『心理物理学と視知覚』
村上 郁也 先生 (東京大学大学院人文社会系研究科 心理学研究室 准教授)
- 14:10 - 15:10 『個体をシステムとして理解するアイデアと方法』
洲崎 悦生 先生 (東京大学大学院医学系研究科 システムズ薬理学教室 助教)
- 15:20 - 16:20 『眼科における イメージングの臨床応用』
間山 千尋 先生 (東京大学医学部附属病院 眼科・視覚矯正科 講師)



社会医学研究とは何か

09/02(金) 09:00 - 16:10

例年統合講義ではグローバルヘルスなど、社会医学の実践的な側面を取り上げています。しかし今年は実践だけでなく研究でご活躍なさっている先生方をお招きすることにより、研究と実践のつながりについて考察し、社会医学を主に研究の視点から、より発展的かつ包括的に理解することを目指しています。

コーディネーター

小林 廉毅 先生 (東京大学大学院医学系研究科 社会医学専攻 公衆衛生学分野 教授)
*09:00-09:15(導入) 15:55-16:10(総括)

スケジュール

- 09:20 - 10:40 『健康の社会的決定要因と政策的含意』
橋本 英樹 先生 (東京大学大学院医学系研究科 保健社会行動学分野 教授)
- 10:50 - 12:10 『生活習慣病の疫学とその予防：日本人の特徴と世界の公衆衛生への貢献』
磯 博康 先生 (大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座 公衆衛生学 教授)
- 13:00 - 14:20 『リアルタイムで行う新興感染症の流行モデリング』
西浦 博 先生 (北海道大学医学研究科 医学専攻 社会医学講座 衛生学・細胞予防医学分野 教授)
- 14:30 - 15:50 『医療倫理学の現状と今後の展望』
赤林 朗 先生 (東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 医療倫理学分野 教授)